

アジェンダ21すいた エコレター 1月号

明けましておめでとうございます。旧年中は会員の皆様にはコロナ禍厳しい中にもご活動頂きまして大変ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

昨年も1年間コロナ一色で、人も社会もさまざまに影響を受けた1年となりました。そのような中でもアジェンダは足を止めることなく、zoom会議の定例化、オンラインを通じた記事や情報発信にもつとめて参りました。世界はこのような中で人口増大、経済成長に伴うグローバルな環境への影響をどう回避するか、28年後の2050年、8年後の2030年を目標年として、温暖化問題、海洋プラスチック問題、そしてSDGsと、右肩上がりの問題に対処するには右肩上がりの努力が求められます。アジェンダも新たな企画、社会実装を目指しさらに取り組んで参ります。

ともども健康に気をつけ、今年も元気に前進していきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【アジェンダ21すいた代表 三輪】

もくじ

■表紙	… 1
■「気候変動セミナー」レポート	… 2
■すいた環境教育フェスタに出展します！～資源部会と自然部会編～	… 3
■すいた環境教育フェスタに出展します！～プロジェクトチーム編～	… 4
■環境楽座	… 5
■学内ゼミナール会	… 6～7
■各種募集・イベント案内	… 8

「気候危機セミナー」レポート

10月30日（土）に吹田市立夢つながり未来館（ゆいぴあ）において、「気候危機！」に私たちはどう取り組むかというテーマでセミナーを開催しました。

講師は和歌山大学客員教授の和田武さんで「気候危機と各国の取り組みについて」の講演でした。ここではこの和田さんのお話を中心にセミナーの概要報告をさせていただきます。

セミナーの概要報告

この講演では、今後のCO₂の排出シナリオに基づく気温上昇の予測やその影響について、1.5°C未満への抑制が不可欠と述べられ、温暖化の進行による破滅的な不可逆的破壊が生じると警告を鳴らしておられます。世界の年間CO₂排出量は約420億トンとなっており、今後の急速な削減が不可欠とされています。

そのような状況において、和田さんは再生可能エネルギー（以下再エネ）の重要性を強調され、この点日本は欧米諸国に比べ再エネ比率が低く、その発電設備をもっと増やすべきだと主張されていました。

そのためには、再エネ普及促進のための社会的受容性が重要とされています。

最近では再エネ投資への比率も中国やインドなど途上国が先進国を上回る状況になっており、また、OECD主要国の再エネ比率の高さはGDPや雇用にも良い影響を与えている。ドイツやデンマークで再エネが普及した理由としては、市民・地域が主体となって進められ国民の支持率の高さがうかがわれるとも述べられています。

さらに、日本の地球温暖化対策計画、第6次エネルギー基本計画の課題についても触れられ、この点については電源構成比率や発送電分離についての指摘がありました。例えば発電量構成比については再エネ比率の低さや原発依存の可能性について問題視されており、電力市場価格高騰事案も挙げられています。

持続可能な日本を実現するための電源構成案として和田さんは2050年再エネ100%を実現すべきであると主張されており、そのためにも市民・地域主体が積極的に再エネの普及の担い手となりこの温暖化・気候危機防止の持続可能な社会を実現しようと締めくくられていました。

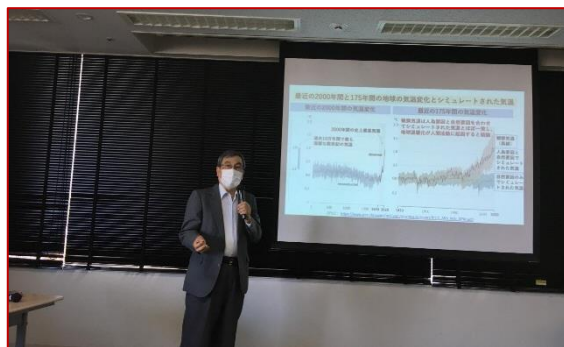
次に吹田市環境政策室から吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画の策定経緯、計画の目標、取組、施策そして家庭でできる省エネの工夫などについて説明がありました。

詳しくは吹田市のホームページでご確認をお願いします。

参加しての感想

参加者の皆さんは少なからず自然災害（気候危機）に対する意識の高さがうかがえ、再エネや省エネの必要性を感じておられました。

各テーマについての議論も大切ですが、私たちはこれからどう行動すべきか、若者も含めて考え具体的な提案をし、行動することが試されていると感じました。



すいた環境教育フェスタにも記事として掲載予定です！

【アジェンダ 21 すいた エネルギー部会 岡本榮一】

すいた環境教育フェスタに出展します！

～出展内容紹介～

資源部会

「マイカップ・マイボトルでお得にコーヒーが飲めるお店のマップ」を出展します！
どんなお店があって、どのくらいお得かを、読者の皆さんにこっそりお教えしましょう。
吹田市内にはカフェ5社があります。値引きの内容は以下の通りです。



1. エクセルシオールカフェ (1) 【店内・テイクアウト共 20 円値引き】
2. カフェ・ド・クリエ (2) 【テイクアウトのみ 30 円値引き】
3. スターバックスコーヒー (7) 【店内・テイクアウト共 20 円値引き】
4. タリーズカフェ (3) 【店内・テイクアウト共 30 円値引き】
5. ヒロコーヒー (3)
【テイクアウトのみ定価から 150 円値引き、マイボトルで、さらに 100 円値引き】

※最新の情報は各店舗にご確認ください。

お店で飲み物を注文すると紙コップやプラスチックのコップに入れてくれます。

代金には容器代も含まれていることをご存知ですか？マイカップやマイボトルなら、
ごみが出ないし、容器代もかからない。値引きで、お財布にもやさしくて、

環境負荷を減らすことができ、SDGsにも貢献できます。お店もお客も喜ぶ仕組みです。

皆さんも、ぜひ、マップを参考に、マイカップ・マイボトルを携行してコーヒーを飲みに行きましょう！



【資源部会 水川晶子】

自然部会

なぜ大切生物多様性 ー吹田の自然を守るために出来ることー

「いろいろな生物が、同じ種であっても異なる遺伝子を持つことで個性を持ち、直接・間接的につながり、
支えあって生きています。私たち人間も同じ生物であり、たくさんの生物とつながり、支えられて、はじめ
て生きていけるのです。」

すいた環境教育フェスタのアジェンダ2 1すいた自然部会ページでは、この大切な生物多様性を守るため
に、吹田の緑の移り変わりや吹田の残したい自然、残された貴重な自然を守るため行われている市民活動と
私たちが日常生活の中で出来る五つの活動を紹介しています。

またこの生物多様性を脅かす外来種問題について、吹田に入り込んできた主な特定外来植物とその駆除に
ついてもお知らせしています。

是非、すいた環境教育フェスタのアジェンダ2 1すいた自然部会のページにアクセスして、生物多様性に
ついて関心をもち、吹田の自然を守るための活動につなげていただけたらと願います。

【自然部会 藤田和則】

地球温暖化防止プロジェクトチーム

秋の満月の日に合わせて毎年行っております「すいたクールアースウィーク」「ムーンライトコンサート」について、ご覧いただきたいと思います。昨年もコロナが続き、2年続きで開催中止をと考えていましたが、コロナに負けてはいけない、温暖化防止の活動を止めてはいけないと工夫しました。クールアースウィークの趣旨、「1週間、事業者や団体は何かの温暖化防止行動を実施する」に多数の事業者や公共施設、団体がコロナ禍にもかかわらずご賛同いただきました。また江坂公園で行ってきた自然エネルギーで実施するムーンライトコンサートも、今回はバーチャルで行い、市内外のコーラスグループや演奏者が賛同、ネット上で演奏を楽しませて下さり、多くの方が聞いて下さいました。そんな様子をご覧ください。



【地球温暖化防止プロジェクトチーム 三輪 信哉】

食品ロス削減プロジェクトチーム

動画 ～ パペット劇場「食品ロスをなくそう!!」～

今年のすいた環境教育フェスタでは、食品ロス削減オリジナルキャラクター「ペロリンコ」と「てまえどり」が、掛け合いで食品ロス削減を皆さんに呼びかけます。



「ペロリンコ」

「てまえどり」

すいた食べきり運動推進のために活躍中。「残さず食べてね!」の啓発キャラクターとして協力店の店先やテーブルの上、環境イベントで缶バッジとなって活躍しています。

期限切れのためスーパーやコンビニで捨てられる食品を減らそうと、商品をお店の棚の手前から取ることを推奨するため、今年から活躍しています。

この二人の活躍と“私たちみんなの活躍!!!?”で、吹田の食品ロスがなくなることを願い、今回この二人がパペット人形となり、皆さんに呼びかけます。さて、どんなお話になるかお楽しみに～～!!

【食品ロス削減プロジェクトチーム 大林テル】

環境楽座

主催：NPO 法人 すいた市民環境会議

環境会議は2011年から始めた環境講座を「環境楽座」と命名しました。環境問題を考えアクションを起こすために、楽しく学ぶところからスタートしようと思ったのです。今年度の環境楽座は全6回。副題を「今日からはじめるエコアクション」とし、環境問題への具体的なアプローチを紹介しています。前号では、第1回「すいたの生物多様性・講座編」第2回「観察会編」を報告しました。今回は第3回～5回についての報告です。

環境楽座 第3回～第5回の報告

●第3回「わたしからはじめるサステイナブルな暮らし」

～環境家計簿をはじめよう～10/17 講師：環境会議・生活環境委員会

気候危機を自分ごととしてとらえ、自分でアクションを起こす方法として「環境家計簿」を紹介しました。暮らしの無駄なエネルギー消費に気付き、減らす方法を実行しつつ電気やガス、水などの使用量を記録し可視化することで、意識が変わります。1997年京都でのCOP3開催当時から、全国のさまざまな団体が実施してきたものですが、再びやってみてはという提案です。

●第4回「知っておきたい炭とバイオエネルギー（見学会）」

11/21 講師：島田勇巳さん（高槻バイオチャーエネルギー研究所所長）

見学したのは高槻市の山間部にある研究所。「密閉式パッケージ型製炭炉」の実証実験が行われています。そのままではごみになってしまう伐採枝や農業残渣など地域の未利用資源を使って炭を作り、燃料や土壌改良、水質浄化などに利用。製造中にできた熱による発電や温水利用も可能です。炭の用途は広がっており、またプラスチックの炭化も可能とのこと。地域のみならず世界の課題解決に役立つかも。

●第5回「海を守ろう！プラスチックごみの今」オンライン開催

12/12 講師：原田禎夫さん（NPO 法人プロジェクト保津川代表）

世界のプラごみの現状と対策、保津川での活動について、グラフや映像を駆使して解説されました。保津川の景観を汚すのは川岸に引っかけたレジ袋。川下りの船頭さんたちがごみ拾いを始め、原田さんたちは自治会や企業と協働でごみの分布調査やクリーン作戦などを展開。2021年1月、亀岡市は市民の声に後押しされてレジ袋禁止条例を施行し、レジ袋のごみは激減しました。校歌にうたわれている風景を守りませんか、吹田のみなさんと楽しいことができたらの力強いメッセージをいただきました。

第3回



各テーブルでゼロ・カーボンアクションをテーマに話し合う

密閉式パッケージ型製炭炉は小型なので地域での設置や操作が容易



第4回

【NPO 法人 すいた市民環境会議 喜田久美子】

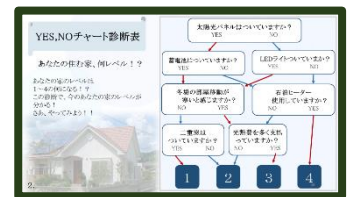
関西大学 学内ゼミナール大会

改めまして、エコレターの編集をさせて頂いている良永ゼミです。私たち良永ゼミは、毎年、自分たちの興味のある環境問題を絞り、3~4つの班に分かれて研究を進めています。昨年取り上げた環境問題は、アパレルごみ、ミツバチと人と農薬、ZEHハウスで、3つの班に分かれて研究しました。

この研究内容を発表する場の1つとして、関西大学で毎年12月に開催される、学内ゼミナール大会があります。この学内ゼミナール大会で、アパレル班とミツバチ班は研究発表部門、エコハウス班はプレゼンテーション部門に出場し、約6ヶ月間の研究内容を発表してきました。

各班、研究内容はもちろんですが、学んだことや感じたことはそれぞれなので、この場をお借りしてお話しさせていただきます。

エコレターもそうですが、良永ゼミの発表内容に目を通し、少しでも環境問題に関心や危機感を持って頂けると幸いです。皆さんの身近にある衣食住の問題ですので、気軽に目を通してみてくださいね。



アパレル班

私たちアパレルごみ班は、服大好き！オシャレ大好き！な女子6人グループです。12月に開催された学内大会では、見事部門優勝に輝きました！更に！関西大学と法政大学が連携して開催された、「SDGsアクションプランコンテスト2021」にて、見事予選を勝ち抜き全国大会へ出場することが出来ました！今回は私たちがどのような提案をさせて頂いたのか、お話しさせていただきます♪

皆さんも多く持っているであろう、安くて可愛いファストファッションの服たち。しかし、つつい「安いから」といって購入したものの、タンスの肥やしになってしまっている、という経験はありませんか？そしてこのタンスの肥やしたちは、衣替えなどで「最も捨てられてしまう可能性にある服」に位置しているのではないのでしょうか。そうして捨てられる運命となった衣類は大量廃棄に繋がり、現代の大きな環境問題とされています。私達はこのタンスの肥やしたちをどうにかして蘇らせることで、大量廃棄の削減に繋げられるのではないかと、思い議論を重ねました。

そして考えついたのが、「学園祭」を活用した体験型リユース活動です。具体的には、タンスの肥やしを使ったコーディネート提案や、古着のリメイクワークショップのイベント開催です。この学園祭を通じて、参加者に楽しく思い出づくりの場を提供する事に加えて、リユースのきっかけの場にもなるのではないのでしょうか。

約半年間という短い期間ではありましたが、グループ一丸となって切磋琢磨し研究ができた事、壇上に立ち大勢の前でプレゼンをするという大きな経験ができた事、そして何よりグループの絆と思い出が沢山出来ました。この期間の経験は私たちにとって学生時代の宝物です！

【良永ゼミ 前田】

BEE 班

BEE 班は SDG s の観点から、「ミツバチと、人を救う」という研究をしてきました。日本は農薬の使用量が極めて高く、農薬を使用することにより、7 割以上もの作物の受粉を助けているミツバチの健康に悪影響を及ぼしています。その影響は同じように人間にも出ており、米國小児科学会は「農薬暴露は子供に発達障害、脳腫瘍などの健康被害を起こす」と警告しています。

これらの問題を解決するために、私たち BEE 班は、有機農業とミツバチのビジネスを組み合わせるといふ提案にたどり着きました。農業にはハチの受粉が必要不可欠なので、有機農業を行っている畑に限定し、養蜂家と農家間で蜂の巣箱の貸し借りを行うことでビジネス化します。さらに有機農業は農薬を使わないノウハウや、残留農薬のない土壌づくりなどの問題があり新規参入が難しいので、地域を限定して有機農業を推進します。

この提案により、ミツバチの減少を防ぐことができ、有機農業を効率的に行うことが出来るようになります。なので、これは養蜂家と有機農家が winwin の関係である提案と言えます。さらに有機農家が増えることで地域の環境も再生され、その恩恵を地域で暮らしている住民全員が享受できます。地域で有機農業を推進するメリットとして有機野菜による体内に残っている農薬の濃度を下げるデトックス効果等があげられます。また、地域の給食に有機食品を提供することも住民への還元になると考えています。

私たちの提案による効果として、三点あげられます。一つ目にミツバチの個体数の増加。二つ目に人体や環境への影響を減らすことが出来る。三つ目に有機食品の供給先の確保です。以上の私たちの提案により、ミツバチと私たちの未来を守っていきたいと考えています。

【良永ゼミ 松本】

エコハウス班

エコハウス班は、新型コロナウイルス蔓延によるお家時間の増加によって、住宅に求める条件に変化があったことに気づきました。蔓延前はデザイン性や金銭面等が中心でしたが、蔓延後は換気性能や省エネ性等、新しい生活に合う条件が求められるようになりました。そこで、私たちは ZEH ハウスを取り上げました。

ZEH ハウスとは、省エネ・創エネ・断熱性能が合わさった家のことで、一般住宅と比べて年間 3,9t の CO2 削減、年間約 16 万円の冷暖房費削減、ヒートショックを緩和することができる住宅のことです。

上記の情報を見ると、ZEH ハウスは環境性、経済性、快適・健康性が優れていることを分かって頂けると思うのですが、皆さんはこれらの情報をご存じでしたか？2020 年までに、ZEH ハウスの普及率は 50% を目標とされていたのですが、実際は半分の 25% も満たしていませんでした。

私たちは、ここに問題意識を感じ、広報活動を活発化させるために、10 秒でできる ZEH パンフレットの導入を考えました。ZEH パンフレットを導入することで、手軽に ZEH ハウスを知る機会が増え、普及につながると考えたからです。

ZEH ハウスが普及することで、環境問題・経済的問題・健康問題の解決につながるだけでなく、SDGs の目標である、3、7、11、13 番等をも解決することができます。興味を持たれた方は是非 ZEH ハウスを調べてみてくださいね。

最後に、結果は伴いませんでしたが、ゼミ活動の中で、仲間と協力する大切さやプレゼンテーションの難しさ等、様々なことを学ぶことができました。この経験や研究で得た知識を、今後に活かせるよう努めていきたいと思ひます。

【良永ゼミ 松岡】

各種募集・イベント案内

◇すいた環境教育フェスタ 2022 オンライン開催◇

環境問題に対して私たちができることは何でしょうか？オンラインで楽しく学習しましょう！吹田市内の環境団体はどんな活動をしているかご存知ですか？また、企業ではどんな取組があるのでしょうか？そんなことをわかりやすく理解できる動画や記事を公開予定です！スペシャルコンテンツとしてSDGsをテーマにしたディスカッション企画も実施予定！詳細はホームページへアクセス！



◆公開開始：令和4年2月7日より

すいた環境教育フェスタ特設ページにて

URL:https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kankyo/kankyoseisaku/esd/_112694.html

◆主催／吹田市 ◆問い合わせ 電話(06-6384-1782)、メール(env-keihatsu@city.suita.osaka.jp)

◇食品ロス削減講座「目指せ！スッキリ冷蔵庫」◇

冷蔵庫の収納術を通じて、まだ食べられるのに捨てられる食品の減らし方についてお話いただきます。

◆とき／令和4年2月21日(月)午後2時00分から午後4時00分まで ◆受講方法／会場またはZoom ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況次第で、Zoomのみになる可能性があります。 ◆講師／Happy Life 山崎 由香氏 ◆主催／吹田市 ◆申込方法／電話(06-6384-1702)、FAX(06-6368-9900)、メール(k_genryo@city.suita.osaka.jp)いずれかにて、名前(ふりがな)、電話番号、メールアドレスを記載して申込してください。

アジェンダ21 すいた会員募集

アジェンダ21 すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21 すいた事務局まで
【アジェンダ21 すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



アジェンダ21 すいた HP

●編集後記

明けましておめでとうございます。旧年の今頃は、何も分からない状況でこのエコレターの編集に携わり、不安な気持ちでいっぱいでしたが、編集に携わるうちに、気持ちに余裕ができて、編集にも慣れてきました。しかし、時が経つのは早いようで、エコレター編集部の世代交代の時期が参りました。

このエコレターを通じて、環境問題や編集の難しさ等、様々なことを学ぶことができました。エコレターを手にとってくださった皆様、アジェンダ21 すいたの皆様には本当に感謝しかありません。今まで本当にありがとうございました。そして、今後ともエコレター編集部をよろしくお願い致します。

【良永ゼミ 井本 前田 松岡】